

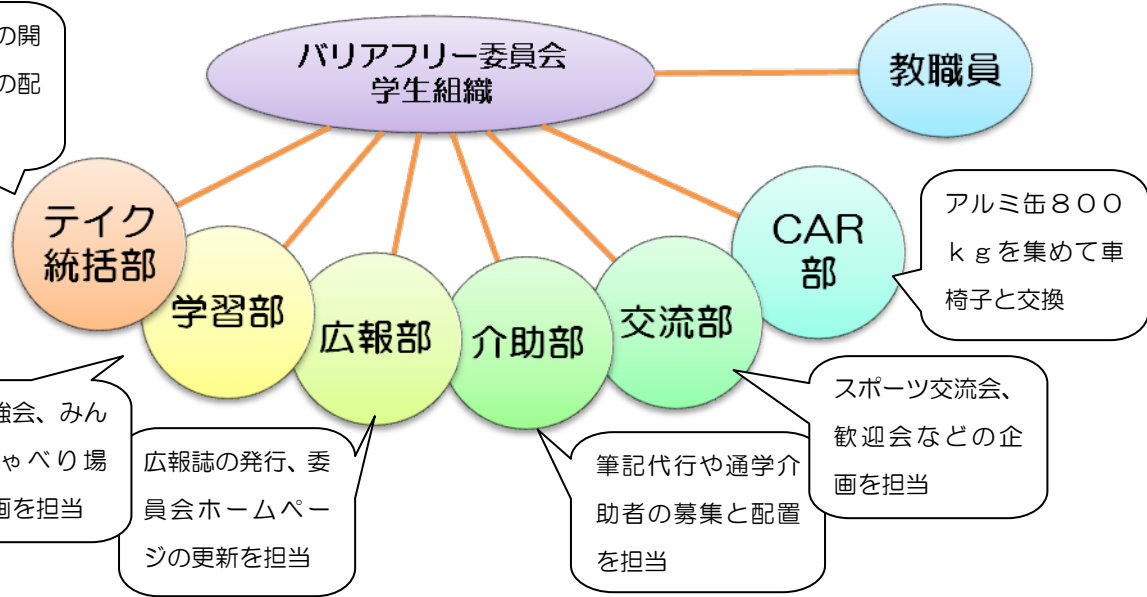
聴覚障がい学生に対する

+ 情報保障 +

情報保障とは、聴覚に障がいを抱え、音声聞き取り難いという学生が、他の受講生と同様に授業に参加できるように、授業中の先生の話やその他の音情報を文字に変えて伝えることです。ノートに文字を書くノートテイクとパソコンで文字を入力して画面に表示するパソコンテイクがあります。テイクを利用する学生のニーズや授業形態に合わせて使い分けています。テイク講習会で練習を積み、未経験者でもテイク師になれます。



テイク講習会の開催、テイク師の配置を担当



+ 筆記代行 +

筆記代行とは、筆記が困難な学生を対象に行っている支援で、授業時の板書をノートに写すことです。授業の内容によっては、使用する道具の準備や後片付け、パソコン操作の補助など、別の支援も必要になってきます。状況により、臨機応変に対応しながら支援を行っています。



+ テイク講習会 +

ノートテイクやパソコンテイクを行うテイク師を養成することを目的に、週1~2回テイク講習会を開いています。テイクの練習をしながら、先輩のテイク師からアドバイスを受けることができます。はじめは難しいと思うかもしれませんが、先輩たちの指導で誰でも一人前のテイク師として授業に入るまでに上達します。



+ 手話勉強会 +

バリアフリー委員会では毎週金曜日に手話勉強会を開いています。手話勉強会は、企画・講座・復習の三つに分けて行っています。企画では、手話を使ったゲームや会話を学びます。講座では講師を学外から招き、基本から応用まで幅広く手話について学びます。復習では講座で習った単語を使った会話を中心に勉強します。

